

平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	542-03-01				
事務事業名			様々な媒体による情報発信事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名			市長公室 秘書課		連絡先	内線3330		
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	4	シティプロモーション			款	2	総務費
	施策の方向	2	まちの魅力の戦略的・効果的な発信			項	1	総務管理費
						目	2	広報広聴費
対象(誰を・何を)			地域のブランド力を					
目的(どうしたいか)			総合的に高め、「人」「もの」「情報」が活発に行き交い、持続的に発展する元気で魅力のある都市を創るため					
手段(事業内容)			広く認知させる様々な媒体(発行物、ウェブサイト、SNS、マスメディア、動画投稿など)を活用し、市の魅力や特色を市内外及び国内外へ発信する。					

事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		0	0
人件費		1,107	1,481
総事業費		1,107	1,481
うち市負担分		1,107	1,481

28年度決算主な内訳

活動指標

指標名	広報紙掲載ページ数(頁)		
指標の説明	1年間掲載したシティプロモーションに関するページ数の合計		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			37

参考数値
H28年度 facebook 投稿数58
リーチ数 (平均) 1,139件 (総数) 66,105件
いいね等 (平均) 77件 (総数) 4,503件

成果指標

指標名	SNS (facebook) の閲覧数(件)		
指標の説明	いいね!・コメント・シェアなどの閲覧者からの返信		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			4,503

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 情報発信を様々な媒体で行うことは、市の魅力や特色を広く認知させることを始め、外部の反応や反響を受信するための最も重要なツールでもあるので、今後も継続する。また、媒体それぞれの特性があり、利用者層(年代、性別等)も異なる。媒体ごとに、受け取り手の視線を重視した効果的な情報発信を行っていく。

平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

		コード	542-03-02			
事務事業名		ポータルサイト構築事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		市長公室 秘書課		連絡先	内線3330	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	4	シティプロモーション		款	2 総務費
	施策の方向	2	まちの魅力の戦略的・効果的な発信		項	1 総務管理費
					目	2 広報広聴費
対象(誰を・何を)		地域のブランド力を				
目的(どうしたいか)		総合的に高め、「人」「もの」「情報」が活発に行き交い、持続的に発展する元気で魅力のある都市を創るため				
手段(事業内容)		市ウェブサイトの再構築およびCMS(ホームページ作成支援システム)の更改ならびに定住促進に特化したページを立ち上げる等、一元的な情報発信を行うとともにサイト閲覧者のアクセス解析等を行い、効果的な施策の推進に向けたポータルサイトの構築を目指したものの。				

事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		14,948	0
人件費		2,584	0
総事業費		17,532	0
うち市負担分		2,584	0

28年度決算主な内訳
【事業費】 ポータルサイト構築業務委託料

活動指標

指標名	本業務の成果物等		
指標の説明	本業務終了後に別紙のとおり紙媒体及び電子媒体等をそれぞれ納品することとなっている。		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		納品完了	

参考数値

成果指標

指標名	本業務完了に伴う紙媒体及び電子媒体等の納品		
指標の説明	納品をもって完了		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		納品完了	

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 平成29年3月末をもって完了。

平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

		コード	712-01-01		
事務事業名		市民表彰・栄典等事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		市長公室 秘書課		連絡先	内線3210
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く自立したまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	1	市民協働と地域コミュニティ		款 2 総務費
	施策の方向	2	市民活動への支援		項 1 総務管理費
					目 1 一般管理費
対象(誰を・何を)		<ul style="list-style-type: none"> 市の政治、経済、文化及び社会の進展に貢献し、又は市民憲章の精神を実践し、市民の模範と認められるもの【市民表彰】 基準を満たした候補者【栄典等】 			
目的(どうしたいか)		<ul style="list-style-type: none"> 功績を称え、表彰する【市民表彰】 国、大阪府へ推薦する【栄典等】 			
手段(事業内容)		<ul style="list-style-type: none"> 羽曳野市表彰条例に基づく基準を満たし、表彰審査委員会の審査を経た被表彰者に対し、例年11月3日(文化の日)に、表彰状及び記念品等を贈呈し、表彰する【市民表彰】 地方自治の育成発展に貢献し、功績顕著な者を、それぞれの推薦基準に基づいて関係書類を作成のうえ推薦するとともに、受賞内定後の連絡調整等を行う【栄典等】 			

事業費

単位：千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		826	874
人件費		4,060	4,073
総事業費		4,886	4,947
うち市負担分		4,886	4,947

28年度決算主な内訳
【事業費】
記念品代等 441,530円
LICはびきの利用料 252,828円

活動指標

指標名	推薦人数(人)		
指標の説明	市民表彰及び栄典等受賞に向けた候補者の推薦人数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		89	65

参考数値

成果指標

指標名	被表彰者数(人)		
指標の説明	市民表彰及び栄典等の被表彰者数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		88	65

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市政の発展に貢献した功労者や団体等について、その功績を称えて表彰することで、今後も模範者としての活躍が期待できるほか、同じ分野で活躍されている方に対しても励みになり、更なる市政の発展に寄与することが見込まれるため、その実施意義は高いと考える。

平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	712-01-02				
事務事業名			互礼会開催事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名			市長公室 秘書課		連絡先	内線3210		
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く自立したまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	市民協働と地域コミュニティ			款	2	総務費
	施策の方向	2	市民活動への支援			項	1	総務管理費
						目	1	一般管理費
対象(誰を・何を)			市内官公庁・各種団体及び各施設の長、行政委員、区長、市議会議員など					
目的(どうしたいか)			新年を迎え、市と市のこれからについて語る場所を提供し、相互交流を図る。					
手段(事業内容)			羽曳野市・商工会・ライオンズクラブ・ロータリークラブの共同開催とし、今後の市政内容及び抱負を織り込んだ新年挨拶を行うほか、市議会議員・国会議員・市選出府議会議員・各団体の役員等より挨拶をいただき、出席者との歓談等交流を図る。					

事業費

単位：千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		721	730
人件費		2,953	2,962
総事業費		3,674	3,692
うち市負担分		3,674	3,692

28年度決算主な内訳
【事業費】 互礼会開催委託料 413,999円 L I C はびきの利用料 279,342円

活動指標

指標名	招待者数(人)		
指標の説明	互礼会の招待者数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		1,137	1,100

参考数値
招待者数 H28年度 1,137 H29年度 1,100(見込み)

成果指標

指標名	参加人数(人)		
指標の説明	互礼会の参加人数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		363	350

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 年頭に各種団体の長、行政委員、区長及び議員等に対して市政の方向性を伝え、相互交流を図ることで円滑な市政運営に資するものと考えているが、その規模や水準については常に見直し、検討していく必要があると考える。

平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	722-01-01	
事務事業名		広報紙発行事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		市長公室 秘書課		連絡先	内線3330
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く自立したまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	2	情報共有と広報		款 2 総務費
	施策の方向	2	広報・公聴活動の充実		項 1 総務管理費
					目 2 広報広聴費
対象(誰を・何を)		市民に			
目的(どうしたいか)		市政に関する情報等を、広く提供するため			
手段(事業内容)		市の制度、催し、各事業の取り組み状況などや出来事を掲載した「広報はびきの」を月1回発行する。			

事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		14,087	15,950
うち市負担分		20,731	25,578
人件費		6,644	9,628
総事業費		20,731	25,578

28年度決算主な内訳
【事業費】 広報印刷製本費 12,697,518円 広報印刷製本費(債務負担分) 1,388,870円

活動指標

指標名	発行回数(回)		
指標の説明	1年間で発行した回数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		12	12

参考数値
発行部数 H28 46,200部/月 H29 45,500部/月

成果指標

指標名	発行部数(部)		
指標の説明	1年間で発行した部数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		554,400	546,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 広報紙は、市政情報等を市民に提供する広報施策の中心であり、また多くの市民の安定した情報源でもあるので、今後も継続する。また、インターネット環境の普及によりウェブサイトの重要性が増した。より効率的・効果的に情報を発信できるよう、媒体ごとのバランスを常に見直していく。

平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	722-01-02				
事務事業名			広報板等管理事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名			市長公室 秘書課		連絡先	内線3330		
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く自立したまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	情報共有と広報			款	2	総務費
	施策の方向	2	広報・公聴活動の充実			項	1	総務管理費
						目	2	広報広聴費
対象(誰を・何を)			市民に					
目的(どうしたいか)			市政に関する情報等を、広く提供するため					
手段(事業内容)			ポスター等を掲示する市広報板(市内各地に設置)を維持管理する。					

事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		1,725	1,945
人件費		3,691	3,703
総事業費		5,416	5,648
うち市負担分		5,416	5,648

28年度決算主な内訳	
【事業費】	
修繕費	92,000円
電気料金	1,252,000円
原材料費	108,000円
設置工事費	0円

活動指標

指標名	広報板維持管理等(件)		
指標の説明	1年間で修繕等実施した件数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		42	-

参考数値	
H28	建替・移設 0件
	一部修繕 37件
	新規設置 5件
	(電気設備なし)

成果指標

指標名	広報板使用申請許可件数(件)		
指標の説明	1年間で掲示したポスター等の件数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		125	-

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	C
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 地域住民に広く情報提供する目的として広報板を設置し、維持管理してきたが、広報媒体としては、広報紙やウェブサイトにより、拡充を図ってきている。 また、広報板の旧仕様には電器設備があるため、その設備が故障や修繕等が生じた場合には、当該地域と確認の上、電器設備の撤去を行っている。

平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	722-01-03				
事務事業名			ウェブサイト・SNS管理事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名			市長公室 秘書課		連絡先	内線3330		
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く自立したまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	情報共有と広報			款	2	総務費
	施策の方向	2	広報・公聴活動の充実			項	1	総務管理費
						目	2	広報広聴費
対象(誰を・何を)			市民					
目的(どうしたいか)			市政に関する情報等を、広く市民に提供する					
手段(事業内容)			[ウェブサイト]導入したCMSの適切な保守管理やウェブサイトの運営に対して支援を行い、速やかな情報発信を目的とする。[SNS (Facebook)]市の取り組みやイベントなどの行政情報をタイムリーに発信することを目的とする。					

事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		998	1,789
人件費		2,953	4,814
総事業費		3,951	6,603
うち市負担分		3,951	6,603

28年度決算主な内訳
参考:ウェブサイト保守委託料
H28年度決算
(旧システム) 998,000円
H29年度予算
(新システム) 1,789,000円

活動指標

指標名	市facebook 投稿数(件)		
指標の説明	1年間で投稿された件数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		58	60

参考数値
H29年度(4/1~7/31)
・PC版
トップページ閲覧数:91,015件
・SP版
トップページ閲覧数:36,095件

成果指標

指標名	市ウェブサイトの閲覧件数(件)		
指標の説明	1年間で閲覧された延件数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		332,021	400,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充-重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小-統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止-廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市ウェブサイトのリニューアルに伴い、平成29年度より保守委託業者が変更となった。新ウェブサイトは、デザインや機能等、見やすく使いやすいものとなったので、SNS (Facebook) とともに、引き続き各担当課(担当者)にイベントや行政情報等のより積極的な更新・投稿を促す。

平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

				コード	731-01-01	
事務事業名		秘書事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		市長公室 秘書課		連絡先	内線3210	
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く自立したまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	3	行財政運営		款	2 総務費
	施策の方向	1	効率的・効果的な行政運営		項	1 総務管理費
					目	1 一般管理費
対象(誰を・何を)		市長・副市長				
目的(どうしたいか)		事務執行を円滑に遂行できるようにする。				
手段(事業内容)		①市長、副市長のスケジュール管理及び交通手段の確保 ②来客者の対応及び要望等の対応 ③市内部、外部関係機関との連絡調整 ④関係会議の随行等秘書事務 ⑤後援名義承認及び市長賞交付決定事務				

事業費

単位：千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		3,011	3,850
人件費		22,146	22,218
総事業費		25,157	26,068
うち市負担分		25,157	26,068

28年度決算主な内訳
【事業費】 管外旅費 533,900円 渉外費(交際費) 626,580円 消耗品費 402,018円 全国市長会負担金 573,000円 府市長会負担金 342,000円

活動指標

指標名	公務日数(日)		
指標の説明	市長、副市長の公務日数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		365	365

参考数値

成果指標

指標名	スケジュール調整率(%)		
指標の説明	市長及び副市長の公務日数に対するスケジュール調整日数の割合 調整日数÷公務日数×100		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		100	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 最終意思決定者である市長、副市長の業務執行を円滑にすることで、多種多様化する市政の施策展開や課題解決等に対して迅速かつ的確な判断に至ることができると考えるため、その実施意義は高いと考える

平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	733-05-01			
事務事業名			有料広告等事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名			市長公室 秘書課		連絡先	内線3330・3333・3340	
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く自立したまち		予算科目	会計 1	一般会計
	施策	3	行財政運営			款 2	総務費
	施策の方向	3	健全な財政運営			項 1	総務管理費
						目 2	広報広聴費
対象(誰を・何を)			自主財源を				
目的(どうしたいか)			確保するため				
手段(事業内容)			市の広報紙及びウェブサイトへ広告掲載枠を設け、掲載希望事業者を募る。その際、募集事務は広告代理店に委託、代理店を通して市に成果物と広告掲載料金を納めてもらう。				

事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		0	0
人件費		738	741
総事業費		738	741
うち市負担分		738	741

28年度決算主な内訳
広告収入2,010,000円 (内訳) ・広報紙 45件 ・バナー 30件

活動指標

指標名	広告掲載件数(件)		
指標の説明	1年間で広報紙、市ウェブサイトに掲載した件数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			75

参考数値
掲載金額(市の収入分) ・広報紙(1枠) 40,000円/月 ・バナー(1枠) 7,000円/月 掲載枠(最大) ・広報紙 8件/月 ・バナー 15件/月

成果指標

指標名	広告収入(円)		
指標の説明	1年間の広報紙・市ウェブサイトの広告掲載収入金額		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			2,010,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 有料広告件数の増減は、社会動向や経済情勢によるところが大きく、目標数値の設定は難しいところがあるが、広告媒体ごとの掲載スペースや表示方法など、効果的な見え方について、工夫や研究を引き続き行う。